

長野県信濃美術館のあり方検討会報告概要(信濃美術館の課題)

(『長野県信濃美術館の概要』(平成 24 年 2 月)を一部時点修正)

○施設

1 施設・設備の老朽化

- ・昭和 41 年の開設以来、必要最小限度の修繕を行い施設管理してきたため老朽化が進行。
- ・度重なる増改築の実施により、各施設がつぎはぎ状態に配置されて導線が不明確。
- ・平成2年に併設された東山魁夷館も築後 25 年を経過するため施設・設備面で痛みが目立つ。

2 バリアフリー対応の遅れ

- ・入口が2階部分にあるがエレベーターが設置されておらず、障がいのある方や高齢者の方等、エレベーターが必要な方は東山館の入口まで移動しないと入館できない。
- ・身障者用トイレは東山館側にしかない。

3 機能向上の必要性

- ・県立美術館でしか開催できない規模と幅広い視野に立った大規模展の開催に相応しい展示施設、講堂、ワークショップ室等が必要。
- ・国宝等の魅力的な美術品を借り受けられる条件(万全な保管・展示機能、警備体制等)の整備が必要。
- ・収蔵庫が満杯状態にあり、収蔵庫の増築が必要。
- ・その他機能の補充(図書室、授乳室・託児室、来館者救護室、自動ゲート(精算式)駐車場等)

○運営

- ・限られた指定管理料の中で運営を行っているため、職員は臨時的な職員が多く、長期的視点に立った人材育成が図られているとはいえない状況。
- ・本館と東山館の 2 館を運営している状況を踏まえた学芸員の配置が求められる。
- ・適切な管理運営に必要な予算額の確保。

「信濃美術館本館は…(中略)予算が限られており、適切な修理がおこなわれていません。」

(平成 22 年度定期監査の監査委員の意見(H22.11.19))

○連携

1 教育との連携推進

- ・信州大学との連携協定により様々な事業を展開しているが、今後は、他大学や他の教育機関との更なる連携強化が求められる。

2 観光との連携推進

- ・善光寺等の各観光施設や交通事業者等との連携を図り、観光地“信濃美術館”としての更なる役割を検討する必要がある。

3 館周辺文化施設との連携

- ・県民の憩いの場所である城山公園に位置する信濃美術館の周辺には、城山動物園など、社会教育施設も点在しているため、連携事業の実施など検討する必要がある。

4 県内美術館との連携

- ・全国1位の美術館数を誇る長野県における唯一の県立美術館として、県内各美術館と連携し、県内の美術館活動を盛り上げていく必要がある。